

週報 第3318回

会 長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹 事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2025年12月20日) 第3318回

■ プログラム

クリスマス家族例会

■ 次週のプログラム

12月26日: 卓話担当 原 正人 会員

■ 今後の予定

・1月2日 : 定款の規定により休会

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

12月20日のクリスマス家族例会の余興として私が参加しています「サニー・サイド・ゴスペル・クラブ大阪」のゴスペルのステージを楽しんでいただきたいと思います。

本日はゴスペル音楽について話します。

ゴスペル (英語: Gospel music) または福音音楽 (ふくいんおんがく) は、アメリカ発祥の音楽の一ジャンル。元来はキリスト教プロテスタント系の宗教音楽。ゴスペルは黒人の心情表現や、リズムにおけるアフリカ的なシンコペーションなどが特徴で、キリスト教の信仰を基盤とした音楽のジャンルであり、単なる音楽表現

今月の歌

聖夜

きよしこの夜 星は光り
すくいのみ子は み母の胸に
眠りたもう 夢やすく

にとどまらず、信仰心や希望、慰め、社会的メッセージを伝える手段として発展してきました。その起源はアメリカ合衆国におけるアフリカ系アメリカ人コミュニティにあります。16世紀から19世紀にかけて、アフリカから連れてこられた黒人奴隷たちは、厳しい労働環境や抑圧の中で精神的な支えを求め、歌を通じて神への祈りや日常の苦悩を表現しました。ゴスペルのルーツには、アフリカ伝来のリズム感や旋律、コール・アンド・レスポンス(呼びかけと応答)の形式が深く息づいており、これが後のゴスペル音楽の特徴となりました。

奴隷制度下の黒人たちは、自らの置かれた過酷な状況を歌に昇華することで、精神的な連帯感や希望を育みました。初期のゴスペルは、労働歌やスピリチュアルと呼ばれる宗教歌と結びついていました。スピリチュアルは、しばしば聖書の物語やキリスト教の教義に基づきながら、現実の苦しみや自由への渴望を象徴的に歌詞に込める形式が多く見られます。例えば、「エジプトからの脱出」というモチーフは、奴隷解放への希望として表現されました。これにより、ゴスペルは単なる信仰の表現ではなく、社会的・文化的メッセージを含むものとなりました。

ゴスペル音楽の特徴

ゴスペルの音楽的特徴としてまず挙げられるのは、力強く感情的なボーカルです。歌手はしばしば感情を全身で表現し、聴く者に強い印象を与えます。また、ハーモニーや多声合唱の使用が一般的で、合唱団とリーダーが掛け合いで歌うコール・アンド・レスポンス形式によって、歌の持つ力やメッセージ性が増幅されます。この形式はアフリカ音楽の影響を強く受けたもので、個人と集団の対話、あるいは神と人との対話を象徴的に表現しています。

リズムも重要な要素で、ドラムや手拍子、足踏みなどを伴う場合が多く、聴く者の身体的な反応を促します。アメリカの教会ではフルバンドの演奏で熱唱されることが多いです。歌詞は聖書の言葉やキリスト教の教えに基づくことが多く、神への賛美、感謝、祈り、個人的な信仰の告白、さらには社会正義や希望をテーマとしたものもあります。20世紀以降、ゴスペルは単なる宗教音楽にとどまらず、アメリカの大衆音楽、特にソウルやR&B、ポップスの発展に大きな影響を与える存在となりました。

歴史的な発展

ゴスペル音楽が広く知られるようになったのは20世紀初頭です。1920年代のハーレム・ルネサンス期には、アフリカ系アメリカ人の芸術や文化が都市部に盛ん

になり、ゴスペルもジャズやブルースと融合しながら発展しました。1927年には「トーマス・ドーシー (Thomas A. Dorsey)」がゴスペル音楽を確立する重要な役割を果たしました。ドーシーはブルースの要素をゴスペルに取り入れることで、より感情的で現代的な表現を可能にし、多くの人々に影響を与えました。マハリア・ジャクソン (Mahalia Jackson) もゴスペルの象徴的存在で、力強い歌声で信仰と希望を伝えることで、世界的にゴスペルの魅力を広めました。

第二次世界大戦後、ゴスペルはアフリカ系アメリカ人コミュニティの枠を超え、アメリカ全土で親しまれる音楽となりました。1950年代はゴスペルの黄金時代と呼ばれ、マーティン・ルーサー・キング牧師の公民権運動でも重要な役割を果たしました。

黒人教会だけでなく、ラジオやレコードを通じて一般大衆にも届き、後のソウル、R&B、ポップスの発展に大きな影響を与えました。また、公民権運動の時期には、ゴスペルは平等や自由を求める象徴的な音楽としても機能し、社会的なメッセージ性を持つ歌が多く生まれました。

日本におけるゴスペルの展開

日本においてゴスペルが紹介され始めたのは、戦後の1950年代です。宣教師や音楽教育者を通じて、教会を中心にゴスペルが伝えられました。最初は教会内での礼拝や宗教行事で歌われることが主でしたが、次第に学校や地域の合唱団、音楽教室などでも取り入れられるようになりました。現在では、日本各地にゴスペルクワイア(合唱団)が存在し、ライブハウスやホールでのコンサート、ワークショップ、地域のイベントなど多様な場で演奏されています。宗教的背景を持たない人々もゴスペルを通じて音楽的な喜びや連帯感を体験できることから、音楽文化としての価値も高まっています。また、ゴスペルはボランティア活動や地域活性化イベントでも用いられることがあり、人々の心をつなぐ力を持つ音楽として、日本社会にも根付いてきています。

結論

ゴスペルは、アメリカのアフリカ系アメリカ人コミュニティで生まれた信仰と希望の音楽であり、力強い表現と豊かなハーモニー、リズム感を特徴とします。単なる宗教音楽ではなく、社会的メッセージや個人的な感情を伝える手段として発展し、世界の音楽文化に大きな影響を与えました。日本でも広く受け入れられ、教会や学校、地域イベント、コンサートなど多彩な場で歌われています。ゴスペルは聴く人、歌う人の心をつな

ぎ、勇気や希望を与える音楽として、今なお世界中で愛され続けているのです。

●ゴスペルの名曲

ゴスペルには、世界中で愛される名曲がたくさんあります。

- Oh Happy Day**:1992年の大ヒット映画『天使にラブ・ソングを…』でも印象的に使われ、多くの人がゴスペルと聞いてこの曲を思い浮かべるでしょう。
- Amazing Grace**:2世紀にわたって愛され続ける讃美歌・ゴスペルの一つで、ジョン・ニュートンによって作詞されました。レイ・チャールズをはじめ、多くのアーティストにカバーされています。

●主要なゴスペルアーティスト

ゴスペルの歴史を彩ってきたアーティストや、ゴスペルに大きな影響を受けたアーティストは数多くいます。

- アレサ・フランクリン**:"ローリング・ストーン"の選ぶ歴史上最も偉大な100人のシンガー"で第1位に選ばれた「ゴスペルの女王」です。幼い頃から教会でゴスペルに親しんでいました。彼女はソウルやR&Bにも大きな影響を与えました。
- サム・クック**:ソウル/R&B界のスターとしても知られ、ゴスペルをルーツに持っています。
- マヘリア・ジャクソン**:トーマス・A・ドーシーによってキャリアを支援され、100万枚を売り上げた初のゴスペルアーティストとなった「ゴスペルの女王」の一人です。
- ボブ・ディラン**、**サイモン&ガーファンクル**、**ルイ・アームストロング**、**ナット・キング・コール**、**ブルース・スプリングスティーン**、**チャンス・ザ・ラッパー**:ゴスペルを歌った経験があったり、ゴスペルに影響を受けたりした有名アーティストとして挙げられます。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

- 来週19日(金)の例会は定款第7条第1節の規定により休会になります。振替例会として20日(土)にクリスマス家族例会が開催されますので、ご出席いただきますようよろしくお願い致します。尚、服装につきましては、男性は上着とネクタイ着用、女性会員およびご家族様、ぜひおしやれにドレスアップした服装でお越し下さい。
- 来週16日(火)は事務局がお休みとなりますのでご承知下さい。

委員会報告

- 70周年記念事業で、来年1月15日(木)テクスピア大阪大ホールで、2021年に制作された映画「心の傷を癒すということ(劇場版)」の上映会を致します。生徒達が参加していただけますので、案内等ご協力いただくかもしれません。記念事業参加者記入シートを回させていただいております。ぜひ記念事業の方に参加よろしくお願い致します。
(今井 克範 70周年実行委員)
- 来週は12月20日(土)クリスマス家族例会となっております。ご参加いただける方、梅田で降りてヨドバシカメラビルの9階にあります阪急レスパイアでございます。5時30分受付開始で、6時に例会がスタートということになっております。場所とお時間の方お間違いのないようよろしくお願い致します。
(山本 博章 親睦活動委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数40名 出席免除 0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
12/12	33名	7名	—	82.50%
11/28	29名	11名	5名	85.00%

■ メークアップ

榎本(12/5 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
瀧谷、渡辺(12/5 理事役員会)
植村(11/20 和泉南RC)
八木(秀)(11/21 親睦活動委員会)

■ ニコニコ箱

- ・道正田理事、本日のクラブフォーラムよろしくお願いします(杉本)
- ・道正田理事、本日の職業奉仕部門のクラブフォーラムよろしくお願いいたします(細川)
- ・道正田理事、クラブフォーラムよろしくお願いします(川崎)
- ・欠席のおわび(森口)

ニコニコ箱合計	11,000円
累計	322,000円

■ お誕生日



中 透 会員(16日)

八木 秀富 会員(19日)

先週のプログラム

クラブフォーラム



道正田 均 職業奉仕部門理事

■ 訪問の目的と背景

私たちロータリークラブの職業奉仕部門では、「地域社会のインフラ・生活基盤を支える職業現場を学び、理解を深める」ことを目的として、今回は大阪市および近隣市のごみ焼却・処理を一手に担う舞洲ゴミ焼却場を訪問することにしました。

近年、ごみの分別やリサイクルの推進、環境負荷の低減、廃棄物発生抑制といった“循環型社会”の議論が活発ですが、“ごみ処理の現場”を実際に見る機会は多くありません。多くの市民が、ゴミ袋を出し、回収され、公衆の目の届かないところで処理される——その仕組みを“見に行く”ことで理解を深める必要があると感じました。

今回の訪問が、ロータリーの会員としてだけでなく、住民、消費者、納税者、そして市民としての「環境と暮らしの責任」を考える契機になれば、とおもっております。

■ 舞洲工場の概要

- ・管理・運営は大阪広域環境施設組合。
- ・ごみ焼却施設のうち国内でも大規模なもののひとつであり、処理能力は「1日あたり約900トン」ほどと言われています。
- ・その焼却炉では、集められたごみが 900℃ 超で焼却され、ごみピットには巨大なクレーン(直径6メートル級)が投入物を運ぶ。
- ・また、舞洲工場は見学を積極的に受け入れており、予約制の工場見学や「オープンデー」を通じて市民・団体に公開されています。

■ 見学内容と当日の流れ

訪問当日は、ごみ処理場職員の方の案内で、以下のような流れで見学を行いました。

1. 受付・ブリーフィング

事前予約に基づいて集合。安全上の注意、施設概要の説明

2. ごみピットおよびクレーン操作場の見学

3. 焼却場の説明

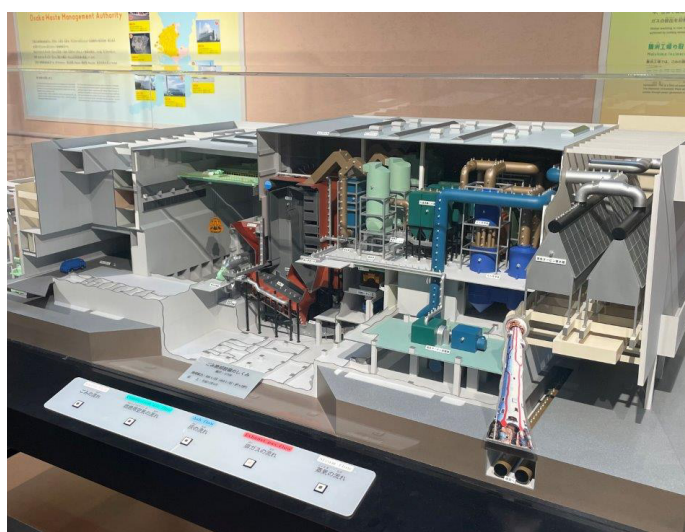
ごみは 900℃を超える高温で焼却され、焼却ガスはきちんと処理されたうえで放出されているということでした。施設の設計・運営は最新の環境基準・排ガス対策に則っており、臭気や煙もほとんど感じられず、清掃工場という先入観とは異なる印象でした。

4. 灰ピットと最終処分の説明

焼却後の灰(主灰、飛灰)は回収され、リサイクル可能な金属類は分別回収されたうえで、最終処分場へ搬送されるとの説明を受けました。

舞島工場では、見学会やオープンデーを通じて広く市民に門戸を開いています。普段は“ブラックボックス化”されやすい施設を、あえて公開し、安全性や環境対策を見せることで「安心」を提供する姿勢は、行政・事業

者の責任として大切だと思います。私たちロータリーのような市民団体がこういう場を見ることで、さらに地域での環境意識を高めるきっかけになり得ます。



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか